



紹介

平成17年度あしたの暮らし ふるさとづくり全国フォーラム in 兵庫





個性豊かなふるさとづくりに取り組み、今年度のふるさとづくり賞(当協会、読売新聞社東京本社、NHKなどが主催)に入賞した団体の表彰式や全国各地で生活学校運動、生活会議運動、さらに地域づくりに取り組んでいる団体が、一堂に会し、今後の地域づくり活動の方向を探る「平成十七年度あしたのくらし・ふるさとづくり全国フォーラム」が去る十一月十八・十九日の両日、全国からおよそ七百五十人の参加を得て、兵庫県淡路市「淡路夢舞台国際会議場」で開催された。

第一日は、今年度ふるさとづくり賞を受賞した団体の活動紹介や今後の連携のあり方などを討議した「おもしろいよ!まちづくり分科会」「シニアの地域活動等への参加機会をどのようにつくるか」「今からでも始められる子育て支援!」「地域が学校と連携を深めるために」などの八分科会を開催し、それぞれ地域での今後の活動の方向性を探った。

さらに分科会終了後には、「交流のつどい」が開催され、新たな交流をつくる場、さらには旧交を温める場として盛りあがった。

二日目の十九日には、ふるさとづくり賞やあしたの日本を創る運動推進功労の表彰に続き、パネルディスカッション「被災体験をコミュニティづくりにどう活かすか」が持たれた。「このなかでは、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震の体験を踏まえての震災直後の救援活動のあり方、さらにはその後の自立的復興を促すための救援の仕方などに



ついての議論が展開された。
 最後に、二日間の討議を踏まえて、決議・申し
 合わせを作成し、参加者一同で採択し終了した。
 なお、今年度のふるさとづくり賞には、内閣総
 理大臣賞に、集団の部では、茨城県土浦市とつく
 ば市にまたがる関東平野最大と言われる里山を対
 象に、その保全・再生に向けて多彩な活動を展開
 している「特定非営利活動法人穴塚の自然と歴史
 の会」が、市町村の部では、町内の二十六地区と
 とに名物・自慢づくりに挑戦し、各地区が競い合
 うように活動を展開している兵庫県加美町（昨年
 十一月に合併し多可町）が、企業の部では、地下
 水の枯渇と汚染を守ろうと、「肥後の水資源愛護賞」
 を設立するとともに、自らも水源涵養林の育成活
 動にも取り組んでいる「株式会社肥後銀行（財団
 法人肥後の水資源愛護基金）」がそれぞれ受賞した。
 内閣官房長官賞には、沖縄県の「あまわり浪漫の会」
 （集団の部）、大分県「豊後高田市」（市町村の部）、
 石川県「ほたん会（山中温泉旅館 女将の会）」（企
 業の部）が受賞した。主催者賞には、集団の部で四
 団体、企業の部で一団体が、また、振興奨励賞に
 は、集団の部で、三十二団体、市町村の部で三団体、
 企業の部では、五団体がそれぞれ受賞した。
 （各賞の受賞団体は五十八頁～五十九頁掲載。あわ
 せて入賞団体等の活動内容については、応募レポ
 ートをまとめた「ふるさとづくり二〇〇五」（表3）広
 告参照）に掲載している。

